



令和7年11月号

Monthly Times

和歌山県立
串本古座高等学校

🌟 空に響いた声と鼓動——全員で創り上げた体育祭2025

雨を乗り越え、青空の下で迎えた開幕

体育祭前日は朝から灰色の雲が広がり、天候不良によって延期の判断が下されました。生徒たちの間には落胆の声も聞かれましたが、翌朝、空を覆っていた雲から一転、グラウンドには抜けるような青空が広がり生徒の心も晴れやかになりました。今年のスローガンである「戦え」にふさわしく、希望と挑戦への意志を胸に抱いた生徒一人ひとりの姿が、明るい光の中で輝いていました。

初めての挑戦となった応援パフォーマンス

今年は新たな取り組みとして、ブロック全員で行う「応援パフォーマンス」が導入されました。得点には反映されないものの、団結力や創造力を育むことを目的とした試みで、生徒たちは限られた時間の中で振り付けや掛け声を考え、練習を重ねてきました。本番では、積み重ねてきた努力が一斉に花開き、声と動きがグラウンドいっぱいに響き渡りました。ブロック同士が互いのパフォーマンスを讃え合い、温かい拍手が広がる光景は、体育祭に新しい価値をもたらしました。さらに、クラブ対抗パフォーマンスリレーでは、各部活動が自分たちの個性を生かしたユニークな演出を披露し、会場に笑顔が広がりました。

垣根を越えて広がった友情と応援

競技はブロックごとの対抗形式で行われましたが、応援の輪はブロックの境界を軽々と越えていきました。転倒した走者に他ブロックの生徒が駆け寄って手を差し伸べる場面や、ライバル同士でありながら全力で声援を送る姿が随所に見られました。

「戦え」という言葉が、単に競技で勝敗を競うことだけではなく、仲間を信じ、支え、励まし合う姿勢を示すものなのだと、生徒たちは行動で伝えてくれました。

生徒と教員が一体となってつくりあげた体育祭

予行練習から本番当日まで、生徒たちは服装を整え、時間を守り、競技にも準備にも真剣に向き合いました。ブロック長が中心となって声を掛け合い、「やるときはやる串本古座高校生」の姿勢が随所に表れていました。

教員も生徒とともに体育祭を盛り上げ、応援パフォーマンスに参加し、一体感を生み出しました。校長先生がリレーに全力で挑む姿に、会場からは大きな拍手が送られました。小規模校ならではの、全員の力が集まる温かな体育祭となりました。

閉会式に響いた感謝の言葉

閉会式では、コロナ禍により簡素化されていた学校行事がようやく本来の形に戻りつつあることへの喜びが述べられました。生徒たちの力強い声と躍動する姿が、スローガンである「戦え」の意味を改めて深く感じさせたという講評がありました。続いて、体育祭を牽引した3年生への感謝、これから学校を支えていく1・2年生への期待、そして支えてくださった保護者や地域の皆様への感謝が述べられ、体育祭が地域とともに育まれる大切な行事であることを再確認する時間となりました。

勝敗を超えて広がった拍手の輪

今年の優勝は黄色ブロックが勝ち取りましたが、赤・青ブロックも最後まで粘り強く戦い抜きました。結果に関係なく、全ブロックが互いの健闘を称え、温かな拍手の輪がグラウンドいっぱいに広がりました。競技終了後、悔し涙を流すブロック長の肩に別ブロックの生徒がそっと手を置く姿は、勝ち負けを超えた体育祭の真の価値を物語っていました。

次なる舞台へ——文化祭に向けた準備がスタート

体育祭を通して深まった絆と挑戦心を胸に、生徒たちは早くも次の大きな行事である文化祭に向けて準備を始めてくれました。「楽しみながら支え合い、互いを高め合える学校を皆でつくっていきましょう」という気持ちを新たに、体育祭は一つの終わりではなく、新たなスタートとして生徒たちの未来へとつながっています。文化祭については、次号のマンスリータイムズで報告させていただきます。



介護福祉の現場を体験！にしき園での入浴介助実習

本校では、**介護福祉士初任者研修の資格取得**を目指す「介護福祉基礎」の授業を開講しています。介護の基礎知識を学び、実践力を養うことを目的に、1学期・2学期には週4時間の座学を通じて、介護に関する知識や技術をしっかりと身につけてきました。

そして現在、2学期からは地域の福祉施設「にしき園」様のご協力のもと、実習を行っています。この日は、入浴介助の方法を学ぶために施設を訪問。講師の先生を利用者様に見立て、洗髪や入浴の介助を実践形式で体験しました。生徒たちは、実際の現場で求められる配慮や技術を肌で感じながら、真剣に取り組んでいました。

3学期には、いよいよ資格取得に向けた試験に挑戦します。介護の仕事に関心を持ち、将来この分野で活躍したいと願う生徒たちの夢を支えるため、多くの方々のご協力をいただきながら、実りある学びの場を提供しています。



🌱 宇宙に係る授業報告

串本古座高校の宇宙探究コースの生徒たちは、このたび京都産業大学・**神山天文台**を訪問しました。天文台には、シンボルである口径1.3m反射式望遠鏡をはじめ、多様な観測機器が整備されており、実際に本物の望遠鏡に触れながら観測設備の仕組みや宇宙観測の魅力を体験しました。間近で見る本格的な機器に、生徒の目は輝いていました。

また、奈良大学の木村教授を講師に迎え、**リモートセンシング（遠隔探査）**に関する特別授業も実施しました。リモートセンシングとは、人工衛星等から地表の情報を収集する技術で、災害対策、農業・漁業の効率化、環境モニタリングなど、私たちの生活をさまざまな面で支える重要な分野です。授業を通して、生徒たちはこの技術が安全で持続可能な社会づくりに大きく貢献していることを学びました。今後、カイトスの発射によって活用可能な人工衛星が増え、生徒たちの学習環境がさらに充実していくことを期待しています。



串本古座高校
ホームページです
ご覧ください



串本古座高校
公式Instagramです。
ぜひ登録ください！

〒649-3503

和歌山県東牟婁郡串本町串本1522

Tel 0735-62-0004 Fax 0735-62-1794